

鐘華会九州支部だより

九州支部だより 第22号

発行 2012年05月15日

発行人 中村 晃

豊後大野に帰る

真 部 邦 則



父親と（チューリップ祭りで乗ったヘリコプターの前で）

4月11、12日に開催された九州支部の鐘華会に出席させていただきました。殆どの方々に初めてお会いしたのですが、親しく話しかけて下さり、ゴルフも最近の平均程度のスコアでしたので、楽しく過ごすことができました。

私はH22年11月に大阪工場で定年退職して、H23年2月に故郷の大分に戻ってきました。両親の介護が目的でしたが、二人とも元気で過ごしていることから、ゴルフ三昧の日々を過ごしています。妻は三度の食事などの家事で忙しく、本当に感謝していますが、私はゴルフ以外にやる事が無い、というのが現状です。

定年後は地域社会に溶け込んで多くのボランティア活動をしようかと考えたこともありましたが、45年間離れた故郷は思い描いたことと大きく違っていました。人口の減少と高齢化が格段に進んでいること、介護の仕事以外に職は無く60歳以上は敬遠されていること、同級生達もそれぞれの歴史があり、遊び以外では仲間に入りにくいこと、等々です。

無制限に自由な時間があることから、政治・経済・社会のニュースに対しては詳細に目を通すことができます。腹の立つことが多すぎますが、同時に無力感に苛まれています。大震災、原発、領土、中国・

北朝鮮、TPP、円高、等々。カネカの情報も色々な方から入って来ますが、知ることと何もできないことが交錯して、定年が実感できています。

とは言え、ゴルフで知り合った仲間も増えており、農業で暮らしている方や民生委員や少年スポーツのボランティアの方々との交流は新鮮なものがあります。両親の介護は必ずやってくる訳ですので、あせらずに、仲間たちとの話の中から自分がやりたいことや、やらなければならないことを見つけていこうと考えています。

私の故郷の写真を添付します。毎年4月にチューリップ祭りが開催され、多くの観光客でにぎわっています。インターネットで「豊後大野市・緒方町」を検索してみてください。



チューリップ祭り



「原尻の滝」東洋のナイアガラと言われている

元寇防塁のこと

歴史で学んだとおり、13世紀にチンギス・ハンが建国したモンゴルは、その五代皇帝フビライ・ハンの時代に、国名を「元」と改めアジアからヨーロッパにまたがる大帝国を築いた。更に朝鮮半島の高麗をも配下に從えて、日本にも度々使者を送り通交を求めてきた。鎌倉幕府は応じず九州の防備を固めた。

1274年「文永の役」では元軍 28,000 人の兵が 900 隻の船に乗り博多湾に攻め入って今津や西新百道から上陸し、そのすぐ南側の祖原の高台に陣取って日本軍（九州全土から集結した御家人）にかなりの損害を与えて撤収した。なにせ名乗り出て一騎打ちをする日本式の戦法と違い、**元軍は集団で周りを取り囲み長い槍で打ち取るやりかた**で、その差異が顕著にでた戦いであっただろう。



「蒙古襲来絵詞」(九州大学附属図書館蔵)
蒙古軍の「てつぼう・長槍」戦法

完敗した幕府は再度の来襲に備えて博多湾沿岸およそ 20 km にわたり石の築地を築かせた。これを後に「元寇防塁」と呼んでいる。九州 9ヶ国が所領一段につき一寸の長さを受け持ち築きあ

青木 得志

げるよう命じられ、そこがそのまま警備担当地区とされた。防塁は当時の波打ち際から 50m ほどのところに、東は香椎から西は今津まで 2.5~3m の高さで海に向けて崖をなし内側には通路を設けた攻めやすいつくりとした。河口などには乱杭を打ち込み侵入を妨げた。



今津～香椎の博多湾岸に築塁



西新百道の防塁跡 (西南大学保存)

元寇防塁	(km)	警 備 担 当
今津	3	大隅 (鹿児島) 日向 (宮崎)
今宿	2.2	豊前 (福岡・大分)
生の松原	1.7	肥前 (熊本)
姪浜	2	肥前 (佐賀)
西新百道	2.3	不明
博多	3	筑前・筑後 (福岡)
箱崎	3	薩摩 (鹿児島)
香椎	2	豊後 (大分)

1281 年の「弘安の役」ではこれに閉口した東路軍（高麗）は江南軍（元）と合流すべく西へ回り、鷹島（長崎県松浦市）を主戦場とする 140,000 人、4,500 隻という大軍となって壮絶な戦いを繰り広げた。700 年以上昔の肥後の御家人であった竹崎季長（たけさき・すえなが）が担当の「生の松原」の防塁を馬に乗って出陣する「蒙古襲来絵詞」は有名である。元軍は鷹島沖に集結している時に暴風雨に遭遇し大半の軍船は沈没した。このために神風伝説を生み出したといわれている。



季長の「先駆け」

昨秋 10 月、鷹島沖の伊万里湾で元の軍船が原型をとどめた状態で発見されて以来しばしば、新聞・雑誌やテレビで報道されている。船底の背骨にあたる木材の竜骨（キール）を幅 50 センチ、長さ 15 メートルまで確認し、防水の白灰色の塗料が塗られ左右両舷側には外板が平行に並び竜骨の長さ等から全長 20 メートル超の大型軍船と推定されている。船の周辺には大量の中国製陶磁器や煉瓦の破片が散乱していることから調査を指揮した琉球大学の考古学教授は元の軍船と判断。これまでも軍船の木材片や大碇、てつはう（円球陶器に火薬と鉄片を詰めた武器）、兜や

鎧等が発見されているが、構造を知り得る状態での船体発見は元寇の実態解明につながる極めて貴重な一級資料の発見といわれている。

700 年以前に沈没した木造船が腐食や劣化を免れてきたことも驚きである。考古学チームは超音波探査機で船体を確認し 25 メートルの海底から更に 1 メートル下の泥に埋まったところで発見した。泥が長年にわたり貴重な画期的資料を守ってきたといわれている。



元軍沈没船

松浦市教育委員会は発見地点を含む伊万里湾の海域 38 万平方キロ余りを史跡に指定すべく文化庁に対し準備していたところ、2 月 17 日付けの新聞やテレビは文化審議会が 1964 番目の国史跡「鷹島神崎遺跡」（たかしまこうざきいせき）として指定するよう文部科学大臣宛て答申したと報道している。指定されれば我が国初の水中遺跡となる。

近 況 報 告 (職 場 訪 問 の 返 信)

川上 義人

健康回復と維持の為、朝・夕の散歩 1 万歩以上は 7 年間続けています。近くの龍田小の鉄棒での懸垂を 4 年続けて居りましたが、お袋の世話の為、伊予西条に帰っている間止めていたところ、今は 1 回もできません。ドライバーの飛距離が落ちたのは力が無くなったせいです。今はぶら下がりから再スタートしています。

石原 晋一郎

残念ながら今回も参加できませんが、現在全国組織の写真同好会である日本風景写真協会奈良支部に所属しています。九州地区にも各県に支部があり、写真を通じての友人も出来ましたので、今年 6 月には関西の仲間と大分県・熊本県の撮影に出かける計画をしています。その際にお会いできたら幸いと思っています。

武田 敏光

現在、高砂に戻り、近くへ 4 日／週短時間の勤務を続けています。休日は楽しみにしていた家庭菜園、テニス、ゴルフと忙しい毎日を過ごしています。秋の例会は是非参加したいと思っております。(希望：月・火又は木・金)

岩出 進

残念ながら当日は他に用事があり、またゴルフは止め、テニスに興じておりますので出席できません。皆様には元気に過ごしておりますので、よろしくお伝えください。

坂元 均

年度末を控え会社(顧客)の忙殺さに付き合われていますが、今日は講談師「神田紅」の公演に妻と出かけました。大声で笑うことが健康・長生きの秘訣だとか。どんなに年をとっても、心の年齢は、男 25 才、女 27 才で止まっているとか。また、あの名曲「お富さん」の歌詞、「やっさほ〜ゲンヤダナ〜」の意味をこの年になって知りました。

後藤 祐吉

本年 1 月に体調をくずし、1 月末まで入院生活を送りました。退院後はぼちぼちリハビリにつとめ、昨今は約 1 時間散歩ができるまで元気になって来ました。好きなお酒も止めています。秋の例会には必ず元気になって出席しますので、今回は失礼申し上げます。

池田 広治

息子と 2 人だけの会社なのでなかなか時間の余裕がありません。テニスだけは月 3 回位やっています。

永井 辰夫

指宿では大変お世話になりました。4 月 12 日は大学の入学式なので今回は欠席させていただきます。定年も延長になりました。若手の教育係と言う事です。

市木 丞

啓蟄が過ぎそろそろと野外は出て彷徨する季節になりました。元気で 1 年を楽しみます。

檜崎 賢治

腰部脊柱管狭窄症の後遺で右足裏の「シビレ」で、まだ整骨院に通っております。約 1 年と 6 カ月位になります。この頃は 2〜3 日に 1 回です。

上野 賢二

3/27 鹿島工場時代の上司であった島雄さんが、奥様とご一緒に城島町に来られました。お父上のご実家の訪問とお墓参りが目的でした。お二人をご案内し、昼食後にはお送りするというあわただしいものでしたが、喜んで頂けたようでした。

広政 誠

この冬の寒さは厳しかったですね。早朝ウォーキング継続中。

上野 與志隆

年金生活では自由で心豊かな時間を満喫出来ると思っておりましたが、実際には少ないお小使いと地域のしがらみに苦勞し、身の細るおもいです。この悩みを癒してくれるのは孫と遊ぶ時とお酒の飲める鐘華会(九州)にでる時であります。

薬師寺 是文

「人生七十古代稀なり」と言われる年齢となりました。先月 2 月硬膜下血腫で頭部に穴を開け手術。それでもまだ建設業協会に席を置き、食欲旺盛に働いています。

橋本 滋

毎日、午前中はスポーツジム(水泳)に通い、午後はパソコン相手に囲碁・将棋。夜は TV でニュース番組を見るという何も変哲のない生活を過ごしています。

成相 定雄

10 数年間クラブを押し入れに入れていたのを取り出して、練習場通いをしています。今日この頃は 1 日に 400 発を打つ体力は付いてきました。球は行方しれず。頭をひねっています。「山九会」には初参加(?)ですが、迷惑をかけないよう頑張ります。

園 博

孫も先月 1 歳となり、休日に娘が遊びに連れてくるのを楽しみにしています。来るたびに孫への要求が多くなり、今は庭に砂場との事で、4 月中には作り上げようと構想を練っています。

真部 邦則

故郷大分に帰ってきて 1 年が過ぎました。両親の介護は数年先になりそうで、ゴルフ三昧の日々を送っています。震災や洪水の被害が各地に起きていますが、何の心配の無い所ですので、安心して年金暮らしをしています。(大阪支部に在籍していますがよろしくお願ひします)

九州カネライト訪問と懇親会



平成 24 年度の職場訪問が、4 月 11 日（水）に九州カネライトにて山口・九州の会員 12 名が参加して開催された。九州カネライトと九州カネカ食品販売及びカネカメディックスの近況説明を受けたあと、高木社長の説明で工場内の案内を受けた。

- ・九州カネライト：22 年、23 年と好調を維持する中、コストダウンへの個々のテーマも全社一丸となり取り組んで、大きな成果を出していることも強い印象を感じ取れた。また、24 年度はナフサの高騰も売価に転嫁できず厳しい状況下での、第 26 回中計のスタートとの事であった。
- ・九州カネカ食品：18 年～23 年までは売り上げも順調に推移してきたが、油脂、バター、小麦などの原料高騰を価格への反映が遅れたことに加え、低価格製品の比率アップや少子化でのパン消費の低迷など利益の取れない構造になってきた。第 26 回中計も大手パン・エリアを含め厳しい状況の中、菓子・加工食品部門の強化及び輸出も視野に入れ前向きに進んでいる感じを受けた。また、鳥栖本社も 15 年の契約切れを期に、5 月より博多への移転が決まった。
- ・カネカメディックス：今回急用で不参加であったが、届けられたパワーポイントを使って中村支部長より説明が行われた。昨年の職場訪問でインターベーション分野の製品を大きく伸ばしているとの事であったが、今年の説明では日本のみならず海外への販路拡張に大きく着手し、更なる業績アップをとの勢いを感じた。

3 社の説明を受け、厳しい環境の中、九州の元気を感じ取れた訪問であった。

夜は、羽犬塚の居酒屋に移り、現役 2 名参加もあり全員で楽しく酒を酌み交わした。

園 博 記

第 7 回山九会ゴルフコンペ



開 催 日：平成 24 年 4 月 12 日

開催場所：八女上陽ゴルフ倶楽部

成 績：

順位	氏 名	OUT	IN	GR	HD	NET
優勝	広政 誠	50	50	100	27.5	72.4
準優	川口 廣祥	47	48	95	20.4	74.6
3	池野 治彦	57	55	112	33.6	78.4
4	真部 邦則	44	49	93	14.4	78.6
5	薬師寺 是文	52	62	114	34.8	79.2
6	成相 定雄	52	55	107	27.6	79.4
7	王寺 常雄	59	53	112	32.4	79.6
8	上野 與志隆	51	48	99	19.2	79.8
9	橋本 滋	63	57	120	36.0	84.0

【戦況】

- ・非常に良い天気恵まれ、スコアも満足されたことと推察申し上げます。もし、ご不満がある方はさらに一層のご精進を。
- ・成績は、やはり勝負強い広政さんの優勝。
- ・実力者の川口さんが準優勝。（川口さんはゲスト）
- ・スコアメイクに失敗された橋本さんが BM。
- ・実力は真部選手が圧倒的です。
- ・あとはドングリの背比べですか。
- ・池野さんはドライバーの飛距離健在。しかし購入したばかりの筆おろしで不調。
- ・薬師寺選手は今年最初のプレーで練習不足。本人はメンバーに恵まれなかったと弁解。
- ・成相選手は調整今一歩。しかし 10 数年振りにしては立派。
- ・上野選手と橋本選手は前日の飲酒が原因。
- ・しかしながら、山九会は更に平均スコアのアップをしないと全国鐘華大会へのエントリーがしばらくと思われます。底上げのためのご努力をよろしくお願いいたします。

上野 與志隆 記

【平成24年度支部活動報告】

◇ 既に実施した行事

年	月	日	活 動 内 容
24	01	25	(鐘華会役員会)
	02	01	(鐘華 66 号)
	02	13	支部幹事会 (小倉にて)
	04	11	職場訪問・懇親会 (12名/14名)
	04	12	第7回山九会ゴルフコンペ

◇ これからの予定

年	月	日	活 動 予 定
24	05	15	支部だより第22号発行
	08		(鐘華 67 号)
	08		支部幹事会
	09		ウォーキング (博多街歩き?)
	11		支部だより第23号発行
	11		支部例会
			第8回山九会ゴルフコンペ

(特記事項)

- ・今年の例会は「天草」か?

(会員の移動)

[謹んでお悔やみ申し上げます]



・古賀 照孝さん

平成23年12月9日逝去
享年60歳

【支部活動費 23年度報告及び24年度予算】

項 目	23 予算	23 実績	24 予算
支部だより送料他	13,000	9,262	10,000
例会写真代	7,000	2,921	3,000
職場訪問通信費	5,000	3,150	3,000
幹事会交通費補助	4,000	4,000	4,000
例会通信費	4,000	4,460	4,000
その他	300		
合 計	33,300	23,793	24,000

あとがき

- ・古賀照孝さんの御葬式の席で真部邦則さんに会いました。大阪支部所属ですが、豊後大野市に在住との事。早速、九州支部活動に参加してもらっています。天国の古賀君が引き合わせてくれたのだと思っています。これからも、どうぞよろしくお願いいたします。
- ・青木さんに元寇防塁の話を書いてもらいました。当時の戦法など大変勉強になりました。
- ・鐘華会の財政も厳しい状況です。支部活動もメールやホームページの有効活用などで経費削減に協力していきたいと思います。
- ・2月の支部幹事会で、今年の例会は「天草」を中心に検討することになりました。乞！ご期待！

【定例役員会報告】

◇ 平成24年1月25日、カネカクラブにて定例役員会が開催された。

◇ 主な内容は下記の通りです。

① 山崎会長挨拶

各支部例会はそれぞれ特徴のある良い例会となった。会報も充実してきたが、ホームページも2月1日に公開出来ることになった。

一方、カネカ本体は業績が落ち込んでいる。鐘華会として何か協力できないかと思ったが、シュミレーションしてみると財政面でそんな余裕はないことが分かった。

② 各支部活動報告、活動計画について

(高砂)

- ・支部ネットワークグループの変更
- ・例会 10月28日 204名参加 (会員:186名) (大阪)
- ・8月24日夏まつりに例年通り「たこやき店」出店
- ・例会 10月22日 会員61名が参加 (滋賀)
- ・緊急連絡簿の作成
- ・例会 11月10日 88名参加 (会員:79名) (鹿島)
- ・東日本大震災の安否確認を実施。建物の被害はあったが、甚大な被害はなし
- ・例会 6月17日 会長を含め18名が参加 (本社)
- ・例会 10月21日 122名参加 (会員:118名)
- ・カネカクラブのレイアウト変更を提案 (東京)
- ・例会 6月13日 61名参加 (会員:53名) (九州)
- ・例会 11月21日 13名参加

③ 平成23年度決算、24年度予算について

- ・支部活動費予算は前年度実績ベースを基準に配賦
- ・会員名簿を冊子からCDに変更する
- ・各会合の回数を減らす
- ・年会費の振込手数料を来年度より個人負担とする
- ・鐘華・支部だより・ホームページの広報手段のそれぞれが有効活用されるよう最適化を図る。